



2024年3月期 決算説明

日精樹脂工業株式会社
2024年5月24日

2024年3月期 業績の概要

2024年3月期 連結経営成績

単位:百万円 ()内前期比					
	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 純利益
2024年3月期	47,068 (△9.8%)	1,724 (△35.7%)	1,340 (△44.8%)	376 (△79.5%)	19.57円
2023年3月期	52,205 (7.1%)	2,682 (4.0%)	2,427 (△17.4%)	1,835 (△31.5%)	94.13円

売上

- ・ 原材料及び資源価格の高騰を要因に、国内および海外での設備投資需要が低調であったこと等により売上高は前期比9.8%減の470億6千8百万円となりました。

利益

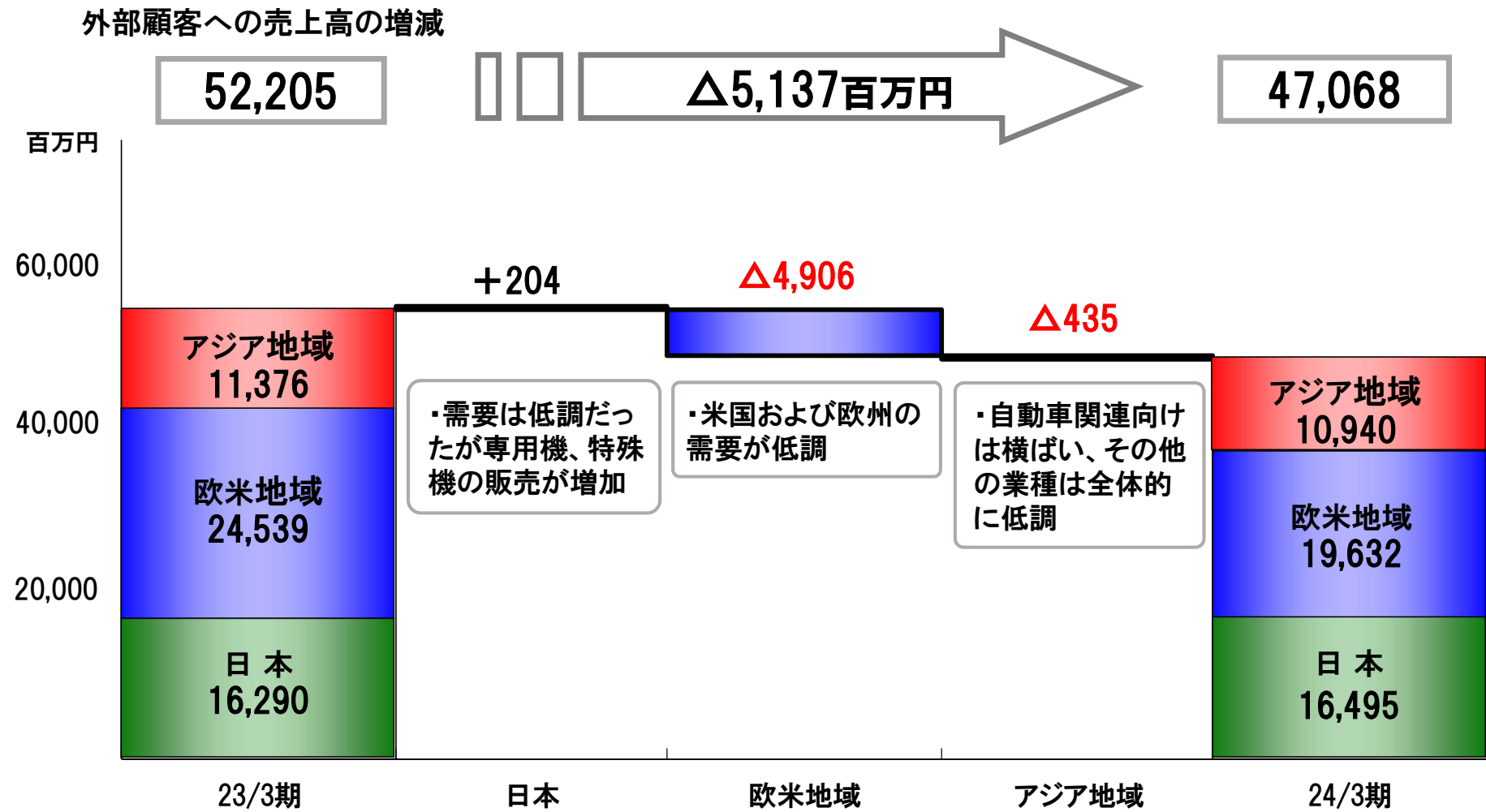
- ・ 営業利益は17億2千4百万円(前期比35.7%減)、経常利益は為替差損(6億円)を計上したこと等から13億4千万円(前期比44.8%減)となり、当期純利益は繰延税金資産の一部取り崩し等を法人税等調整額に計上したことから3億7千6百万円(同79.5%減)となりました。

連結業績概要【前期比】

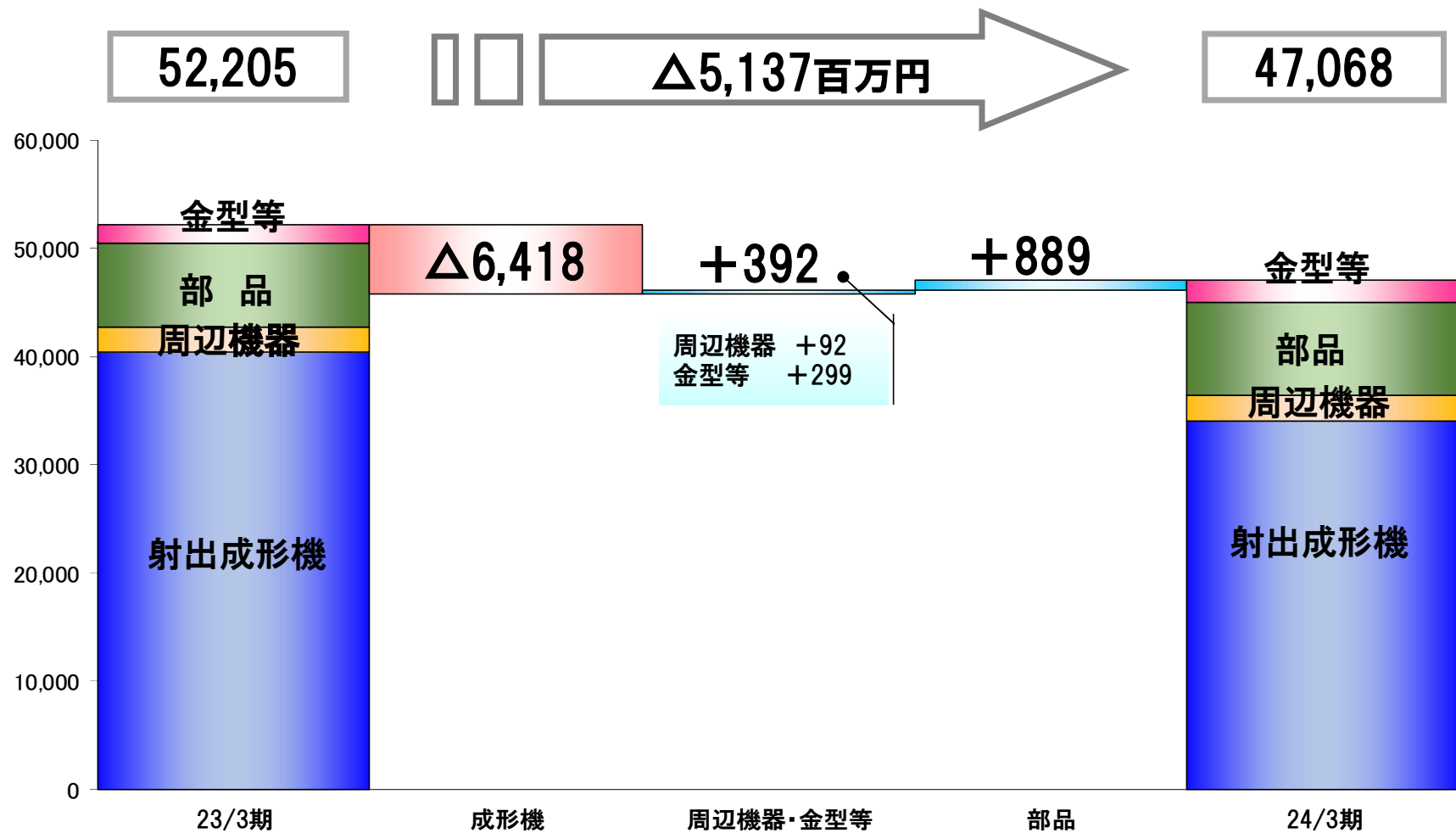
単位：百万円、比率%

	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	対前期比	
			差異	率
射出成形機	40,425	34,007	△6,418	△15.9
周辺機器	2,321	2,414	92	4.0
部品	7,680	8,570	889	11.6
金型・中古機等	1,777	2,076	299	16.8
売上高合計	52,205	47,068	△5,137	△9.8
売上総利益	16,200	15,034	△1,165	△7.2
一般管理販売費	13,518	13,310	△207	△1.5
営業利益	2,682	1,724	△957	△35.7
経常利益	2,427	1,340	△1,087	△44.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,835	376	△1,459	△79.5

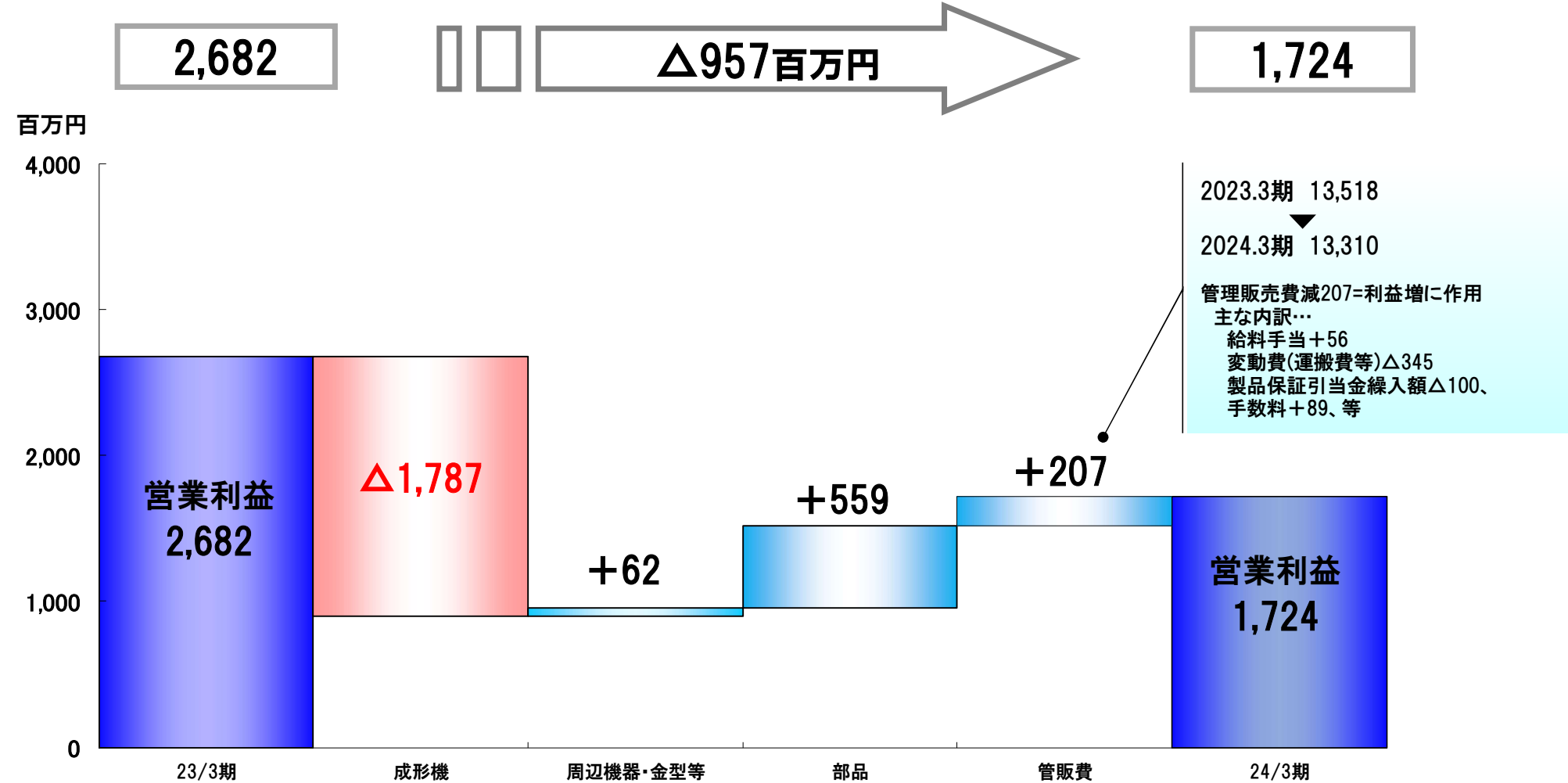
連結売上高(セグメント別)増減 [2023/3期⇒2024/3期]



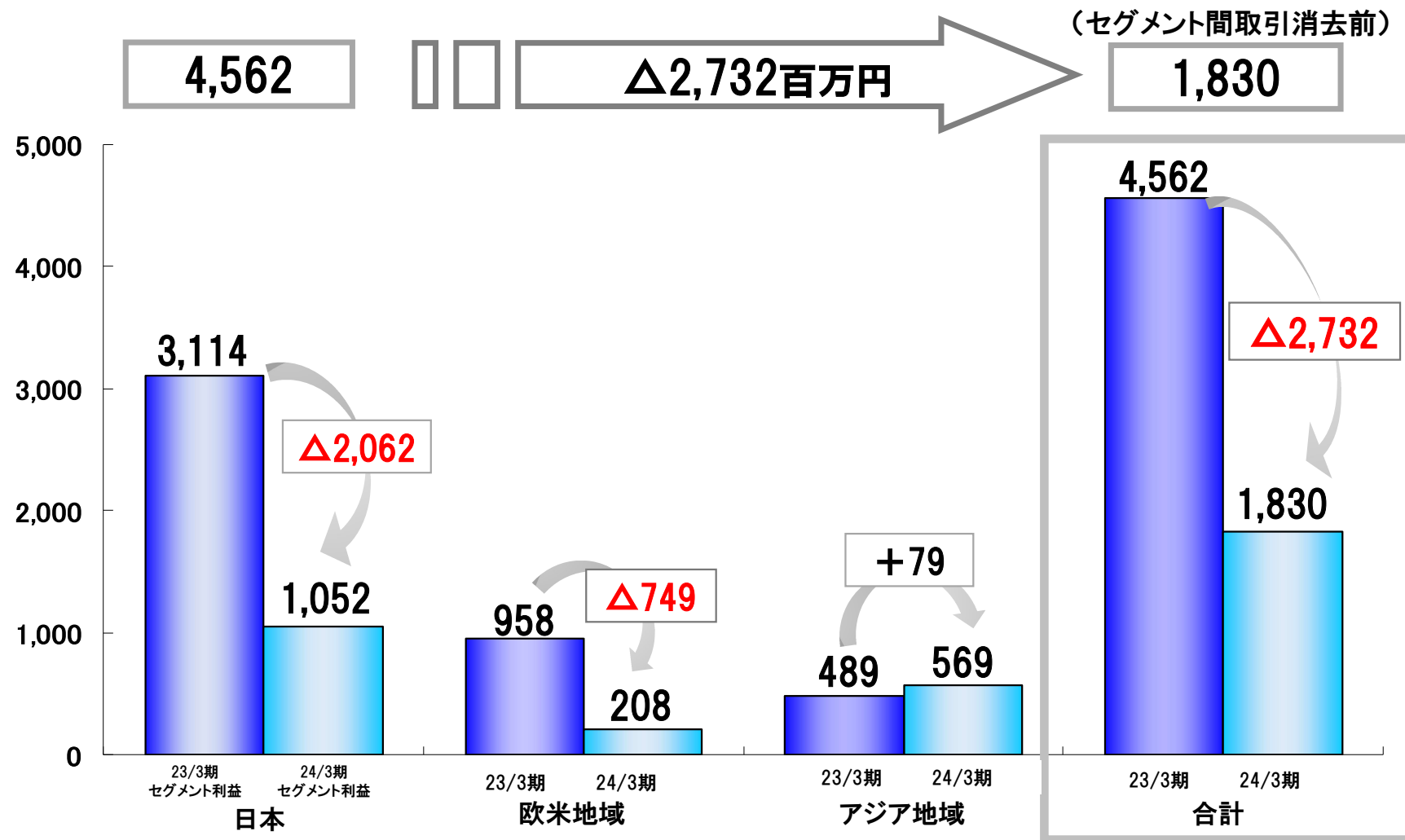
連結売上高(製品別)増減 [2023/3期⇒2024/3期]



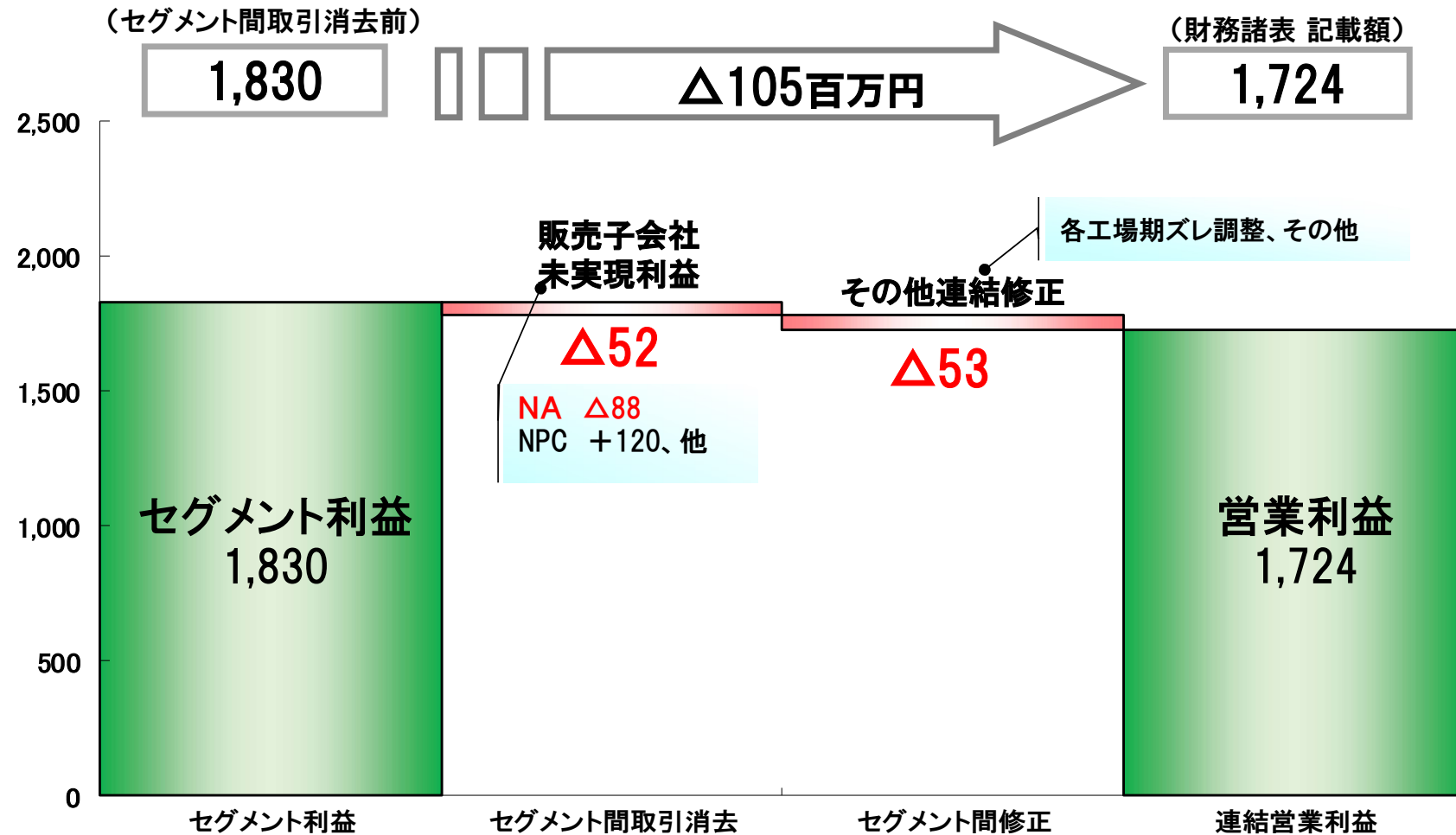
連結営業利益(製品別)増減 [2023/3期⇒2024/3期]



連結営業利益(セグメント別)増減 [2023/3期⇒2024/3期]

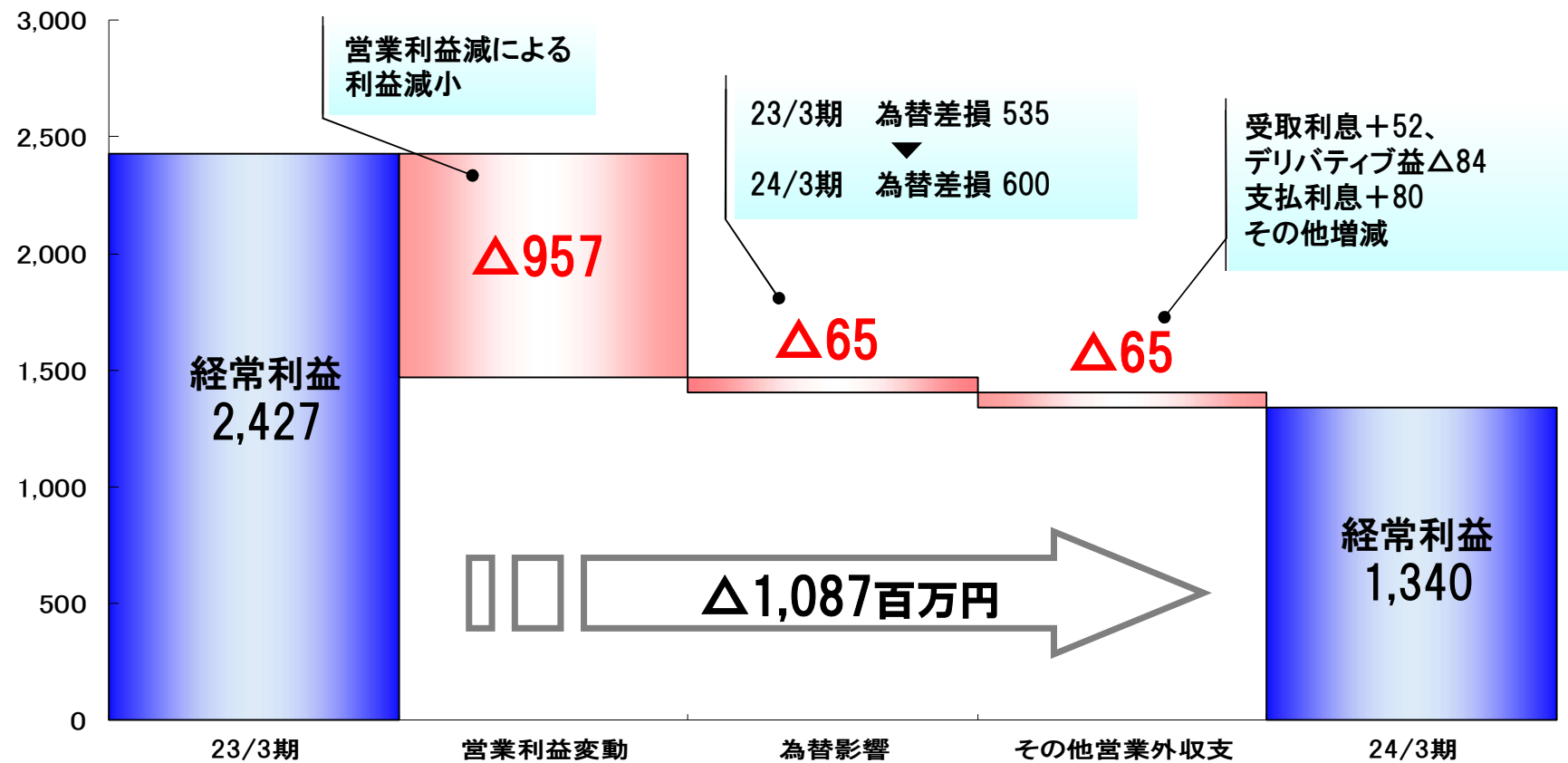


連結営業利益 ～セグメント間取引消去

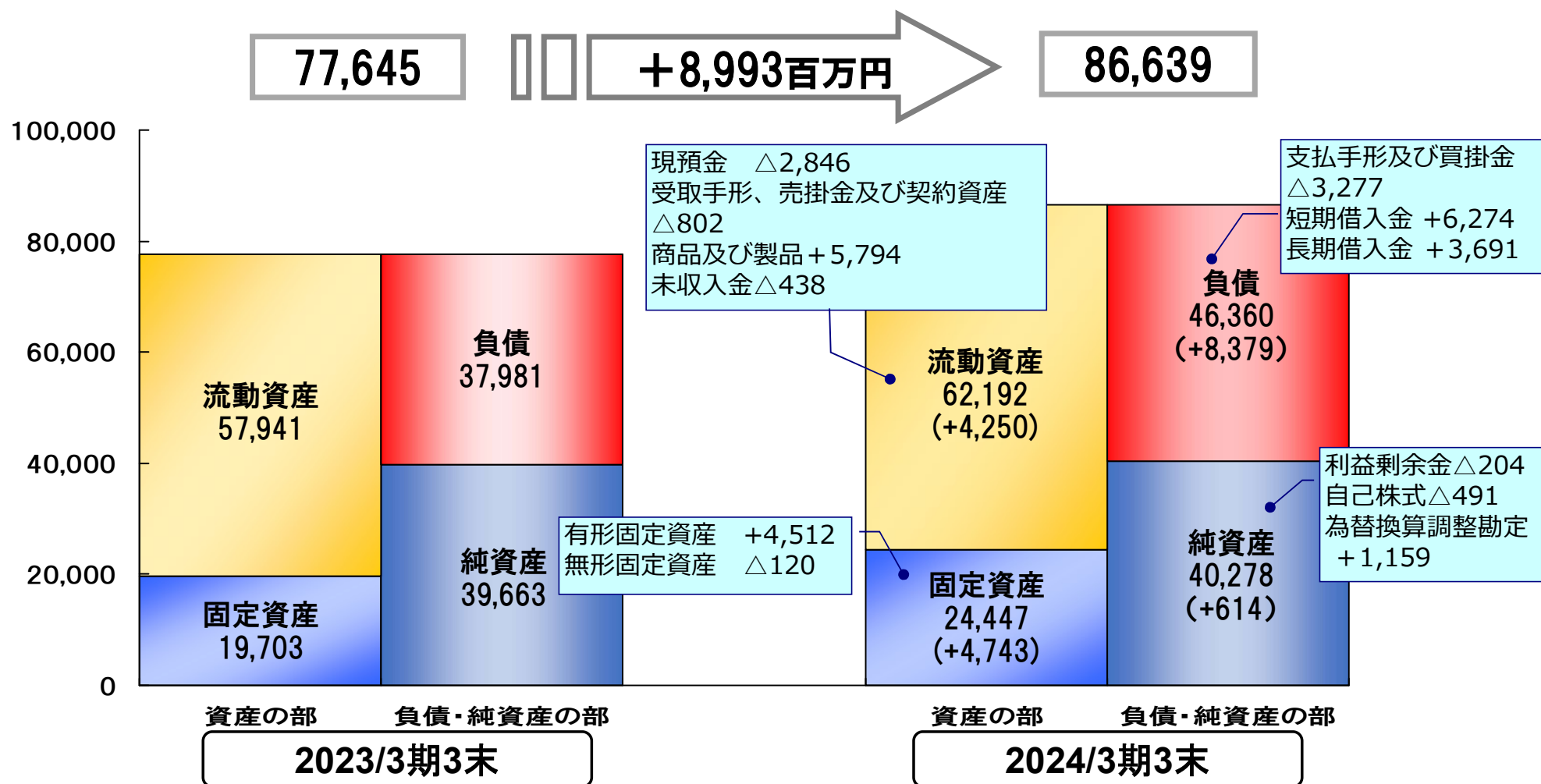


連結経常利益の増減 [2023/3期⇒2024/3期]

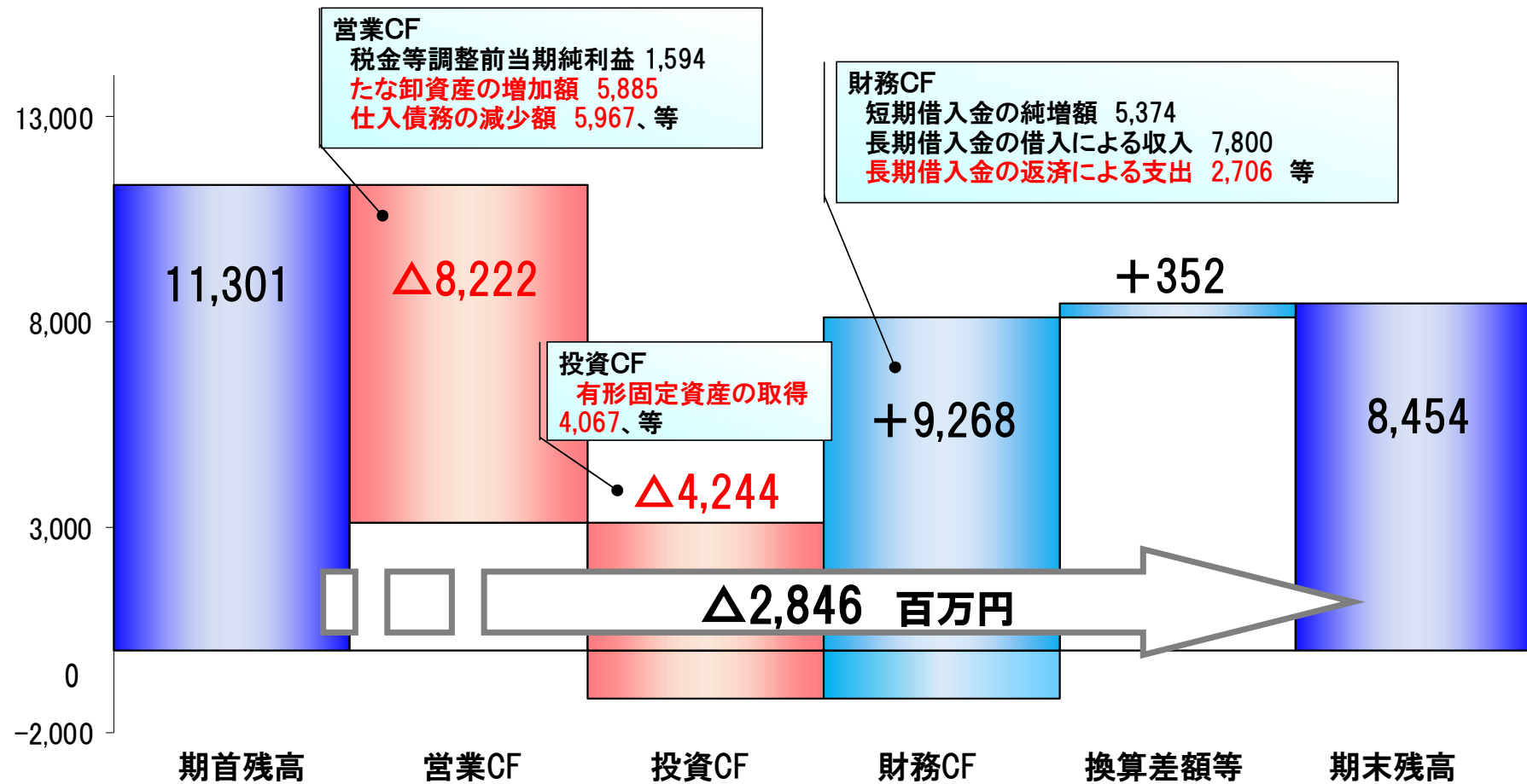
\$ 円レート: 期初 ¥ 133.53 ⇒ 3/末 ¥ 151.41
元円レート: 1/初 ¥ 19.01 ⇒ 12/末 ¥ 19.93



連結貸借対照表の増減 [2023/3期3月末⇒2024/3期3月末]



連結キャッシュフロー ～現金及び現金同等物の増減～

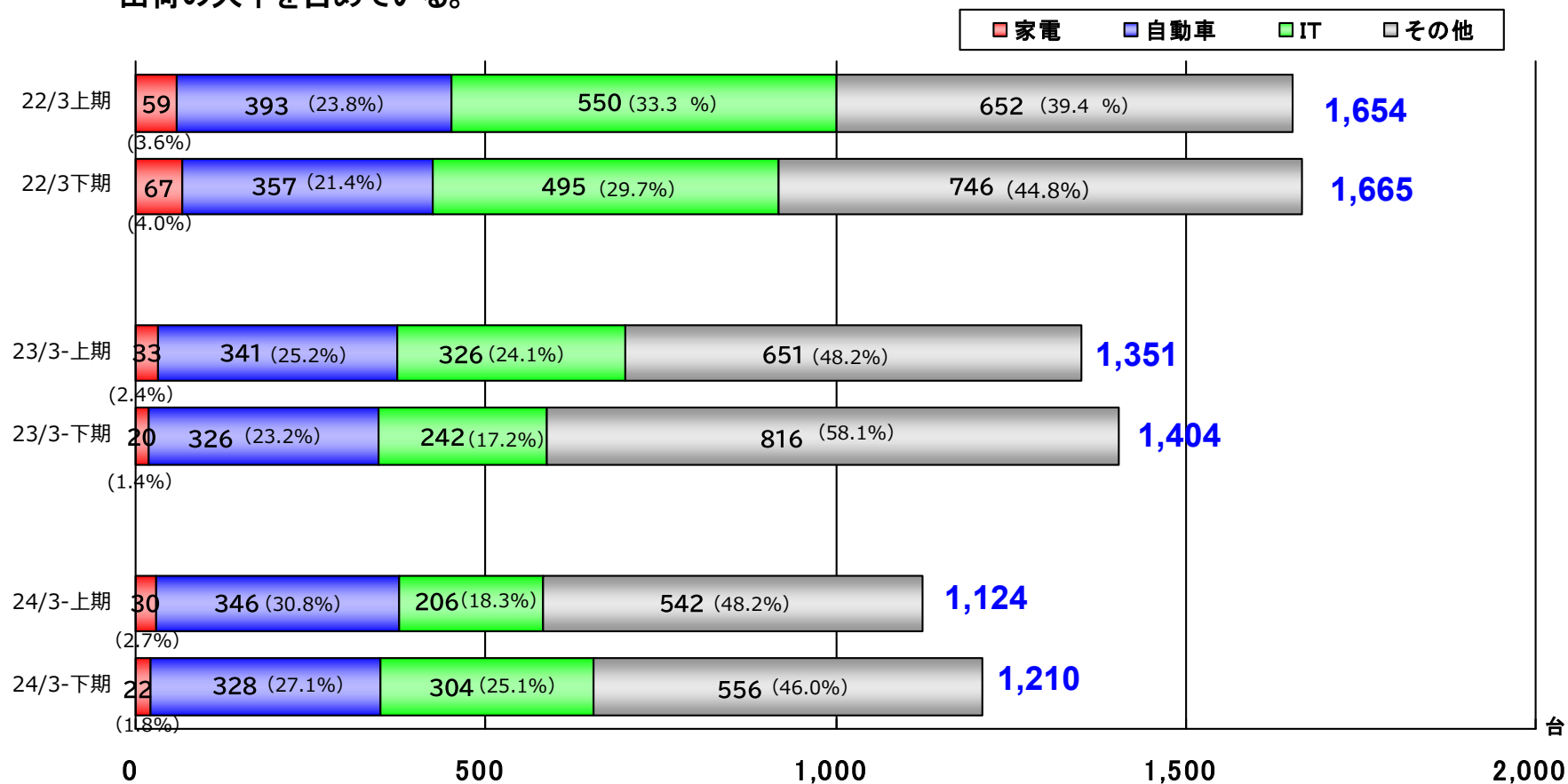


射出成形機の需要先別出荷台数推移（当社）

自動車関連、IT関連、医療・容器関連の3本柱が、
出荷の大半を占めている。

2024/3期

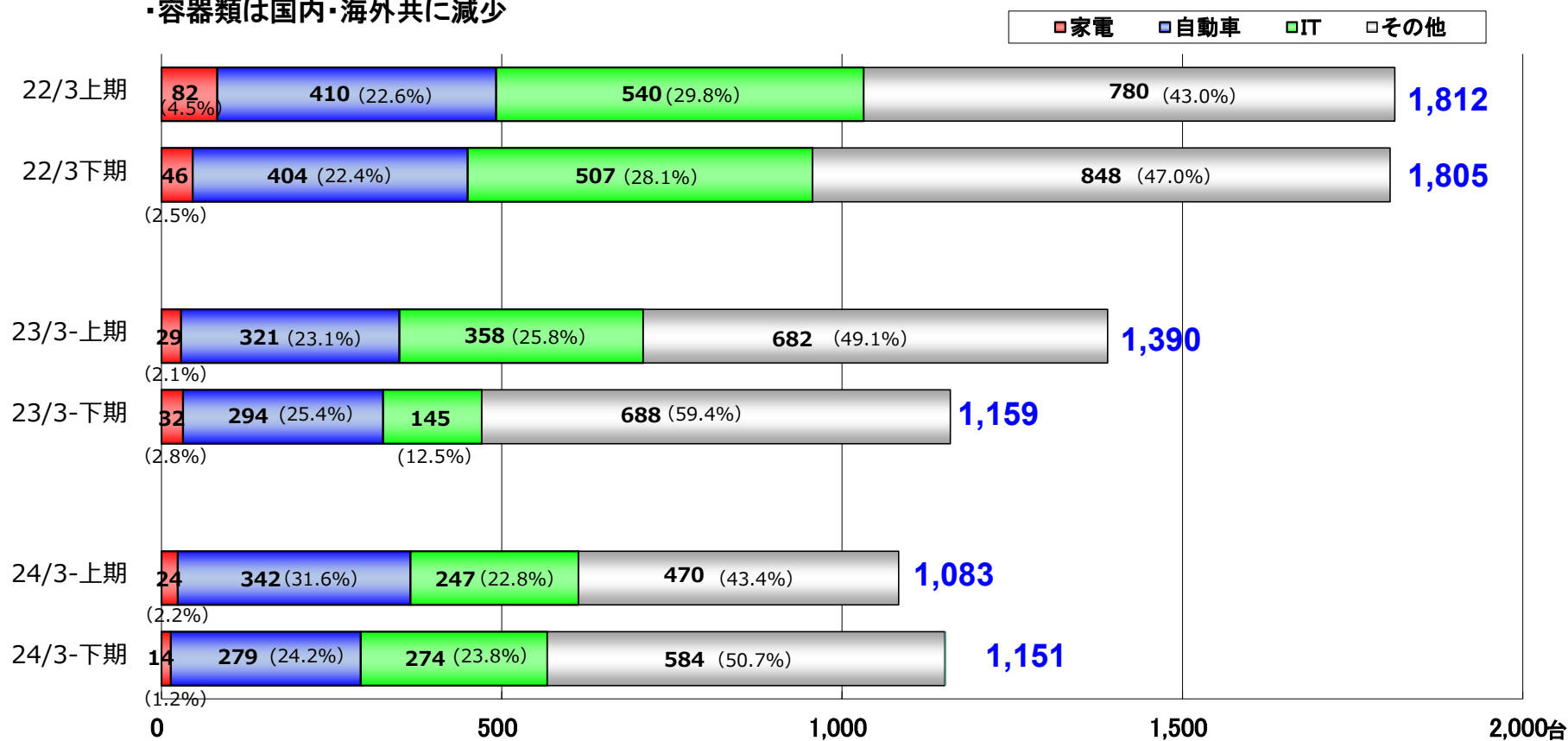
- 自動車…国内海外共に横ばい
- IT…国内減少、海外横ばい
- 医療機器…国内・海外共に停滞



射出成形機の受注推移

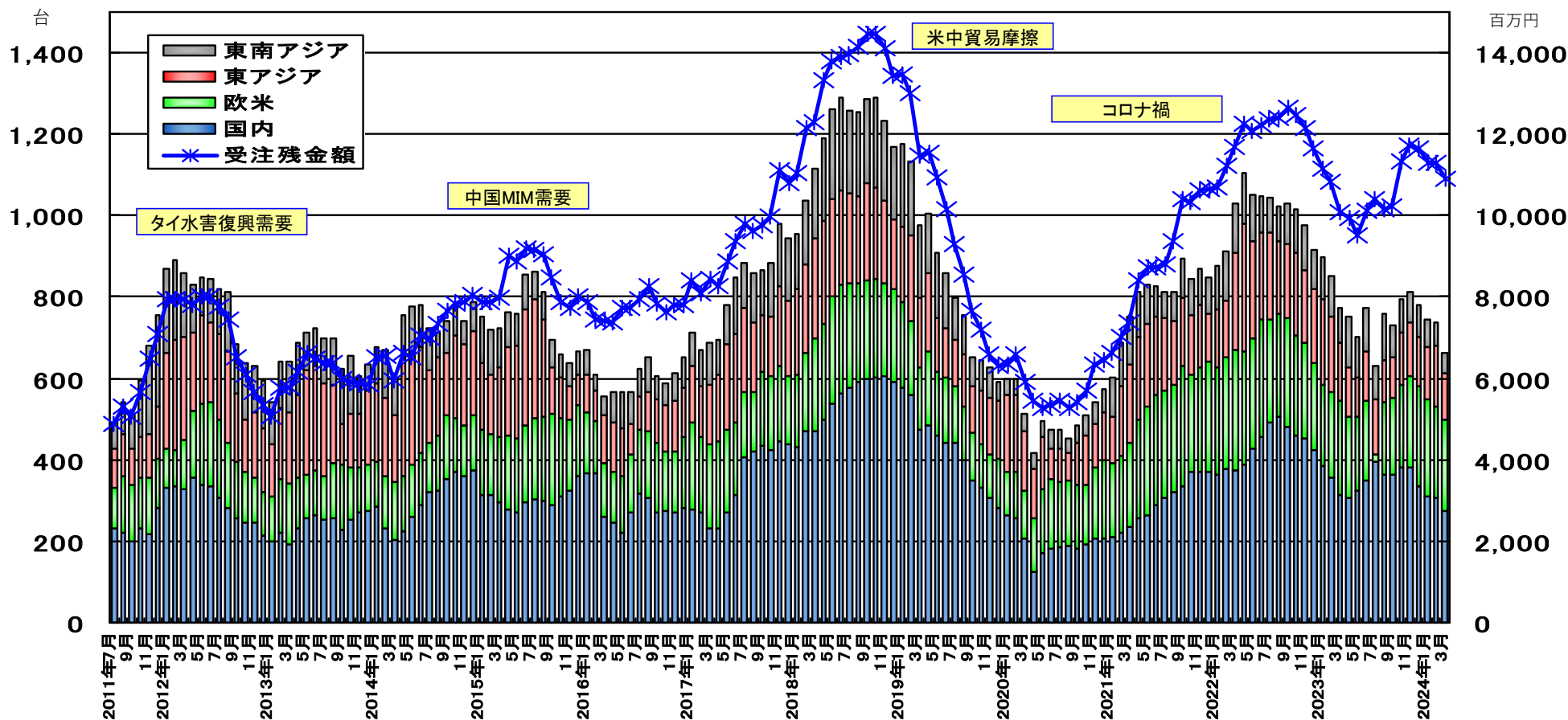
射出成形機の需要先別受注台数推移（当社）

- ・24/3期の受注台数は2,234台。前期比12.4%減。
- ・自動車関連は、国内回復基調、海外横ばい、全体としては前年並み
- ・IT関連は、23/3頃より停滞していたが、東アジア向けを中心に回復基調
- ・容器類は国内・海外共に減少



※単体における契約ベース

国内外で自動車関連を中心に積みあがった受注残が徐々に出荷されてきたことで台数、金額とも漸減。足元は、台数は大きく変わらないものの、単価が大きい大型機が増加したことにより受注金額が増加している。



2025年3月期計画について

経営方針

1. 真のグローバル経営の強化
2. グローバル市場への積極的展開による
営業強化
3. グローバル生産体制の強化
4. グローバルリスク管理体制の強化

2025年3月期 連結損益計画

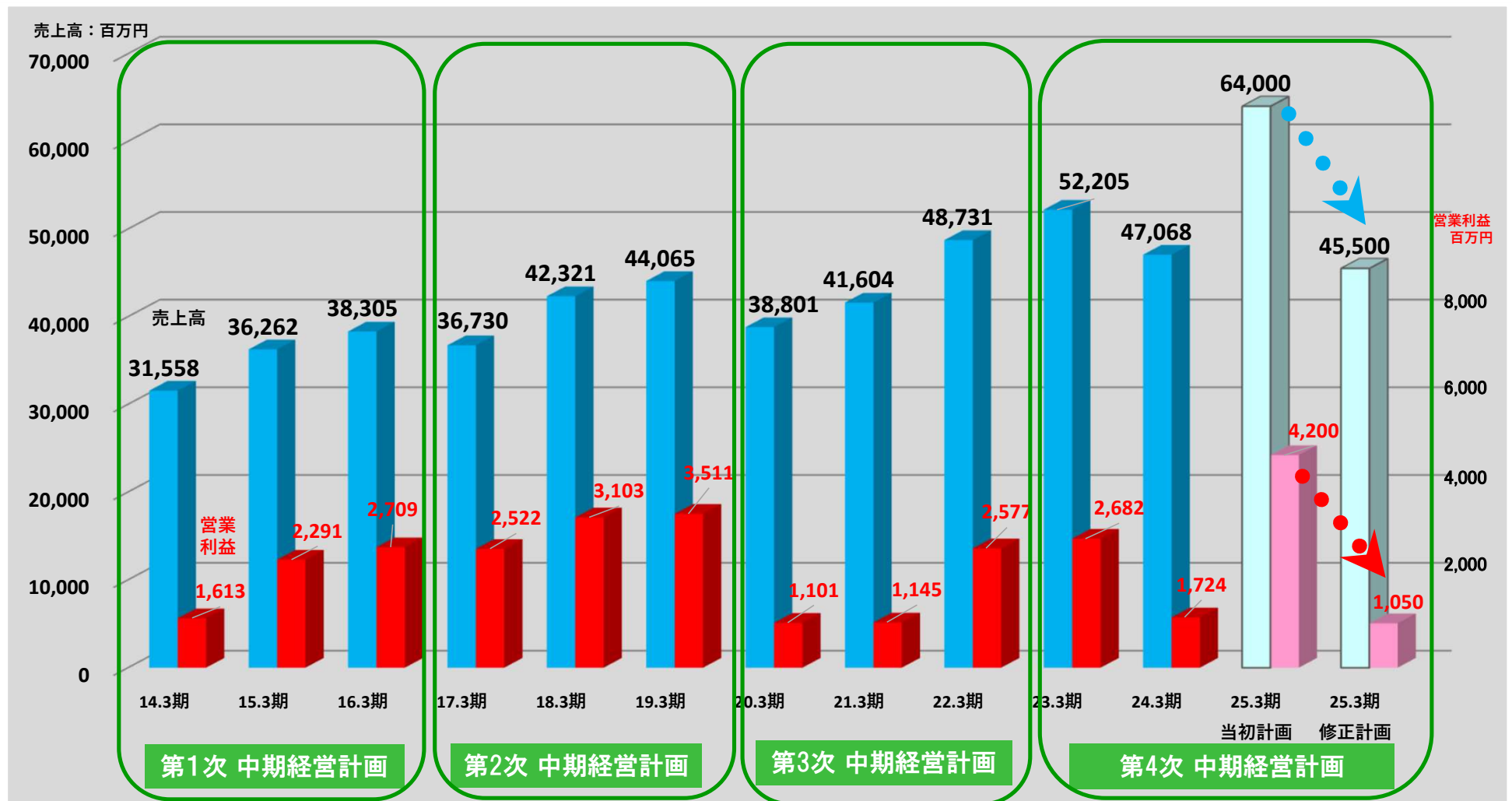
単位：百万円、比率%

	2024/3期	2025年3月期 連結計画			
	実績	第2四半期累計	増減率%	通期	増減率%
売上高	47,069	19,500	△13.6	45,500	△3.3
営業利益	1,724	250	△67.7	1,050	△39.1
(利益率)	3.7	1.3	—	2.3	—
経常利益	1,340	350	△56.3	1,150	△14.2
(利益率)	2.8	1.8	—	2.5	—
当期純利益	376	150	△73.5	600	59.5
(利益率)	0.8	0.8	—	1.3	—

当社23年10-12月⇒24年1-3月、受注台数・金額ともに△12%と足踏み状態。大型機、専用機の受注は堅調であるもののリードタイムが長いことから、売上、利益貢献の実現は、やや後ろズレするものとして、上期は前年同期比の減収減益幅が大きい。

東アジアの需要増加、自動車関連を主として北米、国内の投資マインドの回復を踏まえ、四半期を追うごとに売上は回復し、減益幅も縮小となる計画。生産は前期からの在庫水準を加味して、生産台数抑制気味とするも垂直立上げに備えた準備を整える。

連結売上高・営業利益推移



連結設備投資・研究開発計画

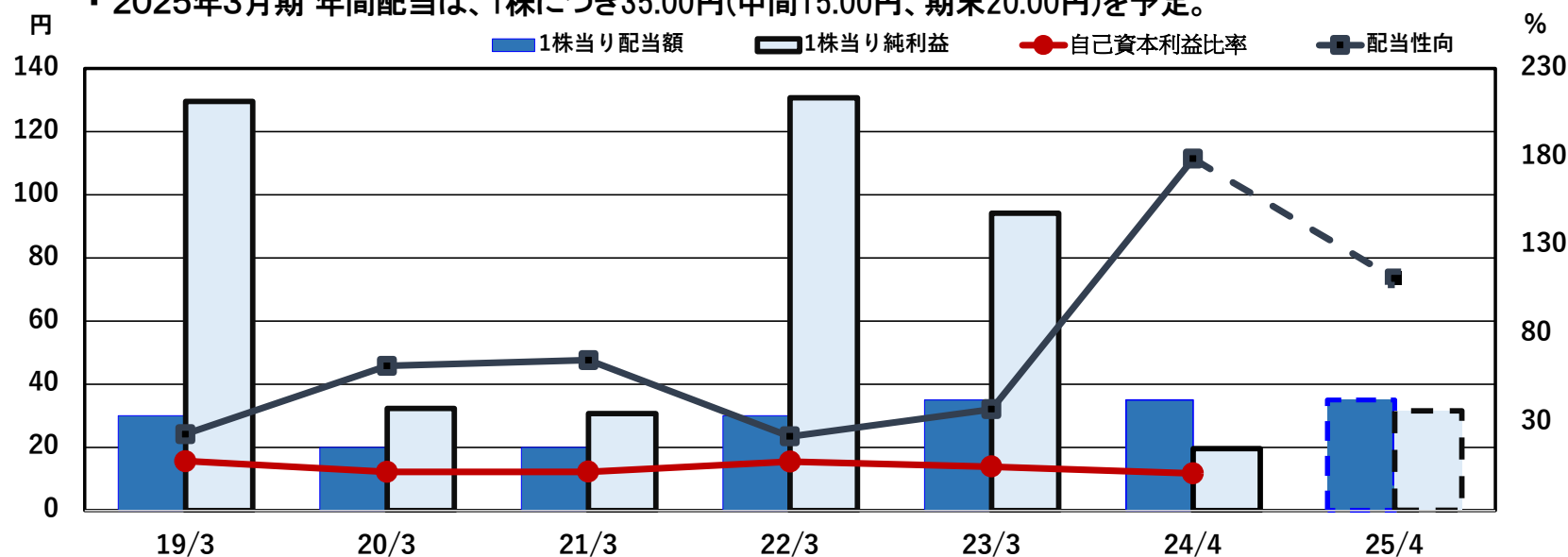
単位：百万円

	2025年3月期計画（）は予算申請分
主な設備等	本社 IFSサーバー更新、AD・DBサーバー更新 82 2軸押出機 180 第5工場空調機修理4台 44 フロン発生装置(空調屋外機) 43 太倉、海塩、タイ各工場車両 25 海塩、三次元測定器 40 プレジジョンセンター(海塩工場2期設置分) 700 (日精メタル 設備増強) (246) (日精ホンマ 設備増強) (741) その他維持投資等 330
設備投資総額	1,449
本社出資	米国工場増築増資 670
減価償却費	1,509
研究開発費	397

配当について

年間配当金／配当性向(連結)の推移

・ 2025年3月期 年間配当は、1株につき35.00円(中間15.00円、期末20.00円)を予定。



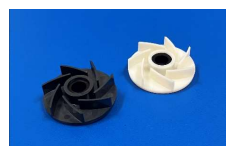
	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	2022/3月期	2023/3月期	2024/3月期	2025/3月期 (予想)
1株当り純利益	129.56円	32.30円	30.71円	137.43円	94.13円	19.57円	31.52円(予)
1株当り配当額	30.00円	20.00円	20.00円	30.00円	35.00円	35.00円	35.00円(予)
中間配当	10.00円	15.00円	5.00円	15.00円	20.00円	15.00円	15.00円(予)
期末配当	20.00円	5.00円	15.00円	15.00円	15.00円	20.00円(予)	20.00円(予)
配当性向	23.2%	61.9%	65.1%	21.8%	37.2%	178.9%	111.1%(予)
自己資本利益率	7.9%	1.9%	1.8%	7.7%	4.8%	1.0%	—

トピックス

NISSEI RED EXHIBITION in 九州 を開催 (日精樹脂工業 × 住友ベークライト 共同開催)

2024.3.13-3.15

✓ 九州・中国エリアの自動車関連産業のお客様を中心に、EV関連の金属代替や軽量化・樹脂化ニーズへのPR、堅型インサート成形・大型成形等、計8台の成形機を出展し、自動車関連部品向けの各種ソリューション技術提案を行いました。



▲インペラ

B:熱硬化性仕様

A:熱可塑性仕様



2色射出成形機をベースに
熱可塑性+熱硬化性仕様のカスタマイズ
DCE140S-5E9EK



▲ECU基板封止

●熱硬化性仕様



堅型射出成形機をベースに
熱硬化性仕様のカスタマイズ
TNX100R-18VK



日精塑料機械(海塩)有限公司への設備導入計画1期分が終了

- ✓ 中国第二の生産拠点となる海塩工場導入設備の第1期分として、工作機械と生産管理システムの導入が終了、立上げ作業を開始。続いて、第2期設備導入を進めてまいります。



▲海塩工場

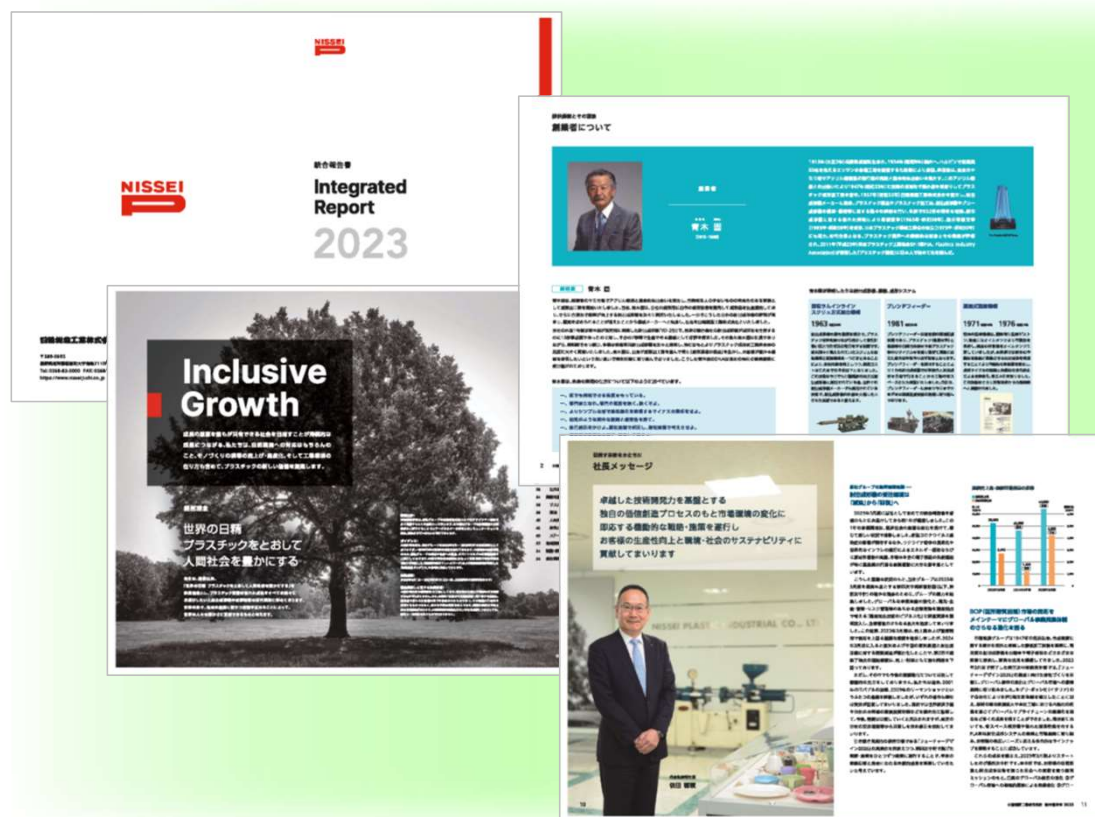


▲第1期導入設備
(マシニングセンター・自動搬送装置)



▲成形機組立ライン

統合報告書2023年度版を発行し、HPにて開示いたしました



2022年度版に引き続き、2023年度版の統合報告書を発行、HPにて開示いたしました。

当社の統合報告書は、経営状況、年次の事業報告、中長期の経営戦略、価値創造ストーリー、経営陣のインタビュー、サステナビリティへの取り組み、コーポレートガバナンス、財務諸表と業績分析等を中心に作成しています。

今後も統合報告書を通じて、会社の取り組みをよりわかり易く発信していきます。

健康経営優良法人2024(大規模法人部門)に5年連続で認定されました

2024.3.11

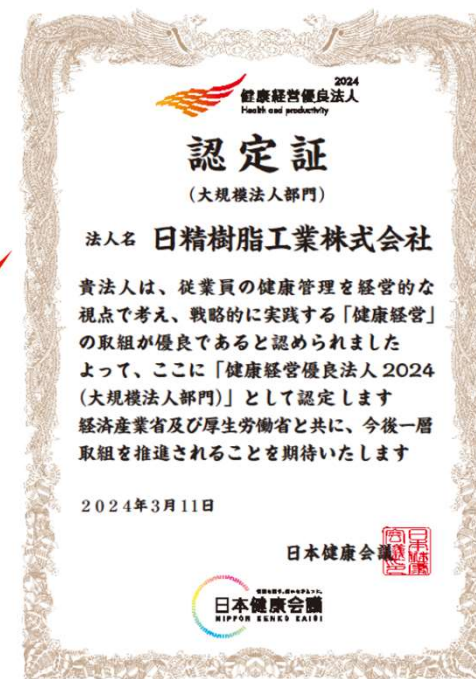
健康経営優良法人認定制度とは、従業員の健康管理や健康増進の課題を経営的な視点で戦略的に取り組む企業のうち、特に優良な取り組みを行った企業について認定される制度です。

当社は、2020年3月2日付けで大規模法人部門の認定を受け、以降も認定を更新し、今回 5回目 の認定となりました。

当社の健康課題である、
社内喫煙率、メタボ率の高さを解決するための取り組み

◎具体的なアクション

- 敷地内全面禁煙、禁煙対策の実施 …禁煙セミナーの開催
- メタボ改善運動 …ウォーキング&サキベジ推進
- メンタルヘルスや女性特有の健康課題に対する健康セミナー



海と、里山の豊かさを守るために。

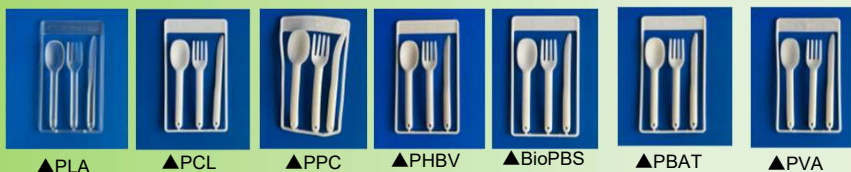
Protecting Biodiversity of the Oceans and Lands

日精樹脂工業は、環境省が推進する“プラスチックとの賢い付き合い方”「プラスチック・スマート」構想に賛同し、海と、里山の豊かさを守るために、その実践と課題解決に向けた共創への一步を踏み出しました。社会が抱えるさまざまな環境課題に対し、「プラスチックをとおして人間社会を豊かにする」という私たちNISSEI の理念に基づいた意志と挑戦を具現化してまいります。



バイオプラスチック…プラスチックの新たな可能性に挑む

- ✓ 当社がこれまで用途開拓に取り組んできたポリ乳酸(PLA)に加え、今後普及が期待される6種類のバイオプラスチックを用い、同一金型(カトラリー)で成形を実施。樹脂の特性で柔らかい、固化しにくい、成形不良が出る等課題もありますが、様々な分野での活用が期待されます。



アップサイクル…技術と創意でプラスチックを賢くつかう

- ✓ 当社は、プラスチック以外の素材等についても利用技術・応用技術の開発を行っています。



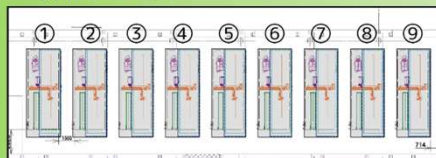
サステナビリティ…環境(工場環境に対するアプローチ)

『省』の技術

“環境対応素材の利用技術をはじめ、
省資源・省エネ・省スペース・省人化(自動化) といった『省』の技術”

- ✓ 新しい機構の開発により大幅な省スペース化を達成したFWXシリーズ。全長が従来機より約20%短縮された他、当社独自の低圧成形システム「N-SAPLI」と組み合わせることで更に大きな製品の成形が可能となり、お客様の成形設備の大幅なダウンサイジングを実現

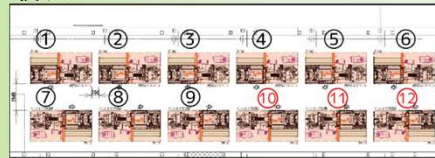
他社機の場合 横トラバース



他社機 9台 → FWX 12台

生産能力
1.3倍

FWXの場合 横トラバース

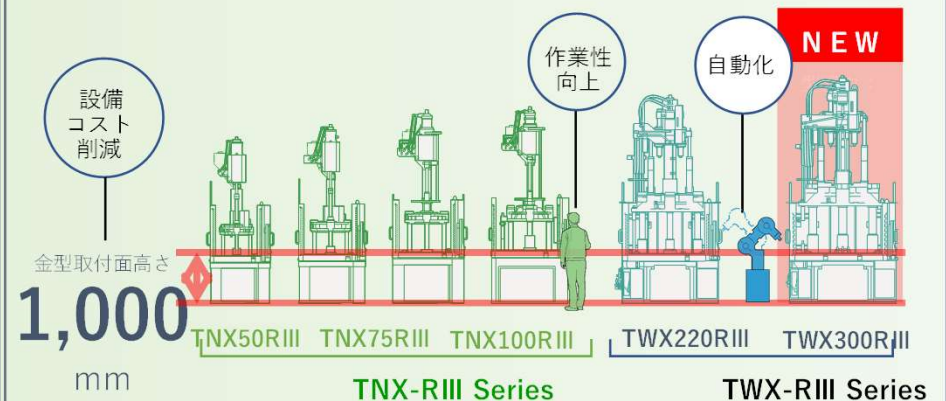


縦トラバース



= 製品回収の効率◎

- ✓ 大型縦型機での圧倒的な低床タイプ
- ✓ 当社がラインナップしている縦型機の回転盤の高さを1,000mmに統一
⇒作業性の向上、付帯する自動化設備の流用が可能に
⇒工場全体での使いやすさを実現
- ✓ 異なる製品形状を同一条件で成形かつ成形不良の改善(N-SAPLIの活用)



環境

サステナビリティ…環境(工場環境に対するアプローチ)

環境

カーボンニュートラルの実現に向けた環境対応の取り組みとして 本社工場・海外工場に太陽光発電を設置

✓ 本社工場や海外生産工場では、環境に配慮した設備の導入や照明のLED化、生産の効率化等を行いCO2削減を推進しています。

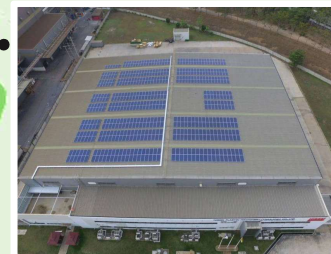
イタリア・NEGRI BOSSI



中国・海塩工場



タイ工場



本社・本社工場



- ✓ 本社・本社工場での、太陽光発電設備により年間約256トンのCO2排出量削減効果が期待できます。
- ✓ 海外生産工場については計測中です。



サステナビリティ…社会

地元の特産品を中心とした株主優待品をお届けし、
全国にアピールするとともに地元の産業の興進に貢献



社会

✓ 近隣小学校・中学校でのSDGsに関する出前授業・本社工場見学会の実施



当社は、環境経営の実践強化を重要な経営課題として、その中の一つとしてSDGsに対する取り組みを
実践しております。近隣小学校・中学校でSDGsをテーマにした出前授業を実施、また出前授業を受けた小
学生対象に本社工場見学を開催するなど取り組んでおります。

✓ 職場体験学習の受け入れ

当社は毎年、近隣中学校より職場体験学習の場を提供しております。
地元の中学生に職場体験を通じて製造業の仕事について理解を深めてもらい、
将来の職業選択の一助となつてほしいと考え取り組んでおります。



✓ 日精スクールでの取り組み

日精スクールは、プラスチック射出成形に関する技術・技能の教育センターとして、
成形業界全体の技術レベルの向上、健全な発展に貢献することを目的として開校。
1968年2月の開校から56年にわたり延べ40,000人超の修了生を業界に送り出して
います。海外(アメリカ・メキシコ・タイ・中国)においてもトレーニングスクールを開校。



サステナビリティ…人財

『プラチナくるみん』

・子育てサポート企業として、厚生労働大臣より認定

当社は、社員の仕事と子育ての両立を支援する取組を推進しており、男性社員を含めた育児休業の取得促進・在宅勤務制度・再雇用制度などの取組が評価され、2021年6月、最高水準である「プラチナくるみん」の認定を受ける



『職場いきいきアドバンスカンパニー』

・長野県が定める認証制度、仕事と家庭の両立ができる職場環境の改善や雇用の安定を進め従業員がいきいきと働き続けられるよう多様な働き方の制度を導入し、実践的な取組を行っている企業として「アドバンスプラス」を認証



『えるぼし認定』(認定段階2)の認証

・女性活躍促進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する取組の実施状況が優良な企業を認定する制度で、えるぼし認定要件の5項目のうち4項目をクリアして認定段階2の認証を受ける



認証を受けた
2段階目マーク



人財

健康経営優良法人2024(大規模法人部門)に5年連続で認定されました

・当社は、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する健康経営に取り組んでおります。社内喫煙法率の低下、メタボ率の低減等の取組が評価され、5年連続5回目の認定を受けました



今後のスケジュール



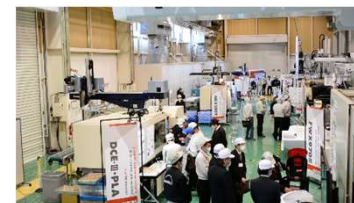
日精樹脂工業は

お客様とともにプラスチックの新しい価値を創造していくため
イベント&セールスプロモーション『NISSEI RED』を展開しています。

環境負荷を減らし持続可能な社会を実現するための環境対応技術、
お客様が抱える「成形加工における煩わしさ」を解決するためのソリューション技術、
さらにもものづくりの高度化を推進するための技術提案・交流の場として、
国内外でプライベート展の開催に注力しています。

イベントテーマ：

Inclusive Growth（包括的成長）



NISSEI RED EXHIBITION in 長野

〈会 期〉 2024年 秋（開催予定）

〈会 場〉 本社（長野県坂城町）

KEY POINTS

- ・成形工場のDX化提案
- ・NISSEIのIoT技術の“現在”と“これから”

名古屋プラスチック工業展2024

〈会 期〉 2024年11月20日～22日（出展予定）

〈会 場〉 ポートメッセなごや（名古屋市）

KEY POINTS

- ・EV化をサポートする対応技術・対応成形機
- ・金属代替による樹脂化・軽量化対応技術
- ・成形工場のDX化提案 等

ターゲット業種を絞り込んだプライベート展も検討中

KEY POINTS

- ・生活家電、日用雑貨業界向けソリューション技術
- ・環境対応素材の利用技術、リサイクル技術
- ・成形工場のDX化提案



日精樹脂工業株式会社

本資料に掲載されている当社の業績予想、見通し、重点戦略につきましては、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があります。
